



めざす子ども像 ~15歳の姿~

- ・ふるさとを愛し
- ・未来を切り拓く
- ・自立した子ども



鴎小HP

鴎中HP

小中合同運動会に向けての取組

新緑が目に鮮やかな季節となりました。鴎泊中学校の校舎には運動会が待ち遠しいのか、季節外れのセミが登場しています。

6月14日に開催される運動会に向けて、小学生と中学生、教職員が力を合わせて、準備を進めている最中です。活動の様子を紹介していきます。【5月30日現在】

①生徒会と児童会の役員が集まり、運動会のスローガンを決める話し合いが行われました。



中学生が小学生をリードしながら、それぞれの思いを込めた言葉を出し合い、真剣な眼差しで議論を交わし、決まったスローガンは

最後まで心を一つに

です。スローガン看板を全校児童生徒が関わる形で作成する予定です。その下準備を生徒会役員が進めています。



②子どもたちの指導にあたる小中学校の先生方も、綿密な打ち合わせ、会場準備を進めています。小中学校の枠を超えて、子どもたちの成長のために、心を一つに協力し合う先生方です。



鴎泊地区小中合同運動会

日時：令和7年6月14日（土）※雨天順延

会場：利尻富士町立鴎泊小学校グラウンド

地域の皆様、保護者の皆様、会場で子どもたちの輝く姿をぜひ御覧ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

③5月8日、第1回目の小中合同ソーラン練習を実施しています。最初は戸惑っていた子どもたちも、練習を重ねるうちに、力強い掛け声と一体感のある動きを見せるようになってきました。中学生が小学生に優しく教える場面がたくさん見られ、微笑ましい限りです。



小中合同運動会の活動を通して、子どもたちは協力することの大切さや、互いを尊重し合う心を育んでくれることでしょう。当日は、子どもたちの精一杯の笑顔と、力強いパフォーマンスを披露してくれることと思います。ぜひ会場でご覧いただければと思います。

小中一貫の日 先生方の学びの場

先日、研修部主催による小中一貫合同研修会を実施いたしました。今回の研修テーマは「特別支援教育について」です。鴎泊地区の子どもたちの成長をより一層支えていくために、小学校と中学校の教員が集まり、特別支援教育に関する理解を深めました。研修では、各小グループに分かれ、具体的な事例をもとに熱心な意見交換が行われました。

今回の研修を通して、小中学校間の連携の重要性を改めて認識するとともに、一人ひとりの子どもたちのニーズに応じた支援のあり方について、より深く考える機会となりました。今後も、教職員一同、今回の学びを生かし、地域の子どもたちが安心して成長できる教育環境づくりに努めてまいります。



小中一貫教育の取組 乗り入れ授業

小中一貫教育の取組の一つに乗り入れ授業があります。これは、小中一貫教育の一環として、子どもたちがスムーズに中学校へ移行できるよう、また、より専門的な視点からの学びを提供することを目的としています。

中学校の先生が小学校で授業を行うことで、

- ・算数は、より発展的な内容に触れたり、中学校での学習につながる考え方を学んだりすることができるよう実施しています。
- ・英語はネイティブに近い発音に触れたり、中学校での学習を見据えた実践的なコミュニケーション能力を養ったりすることができます。

子どもたちは、小学校の先生とはまた違った視点や教方に触れることで、新たな発見や学びを得ています。中学校の先生にとっても、小学生の様子を知る貴重な機会となっています。今後も、このような小中一貫教育の取組を通して、子どもたちの学力向上と豊かな成長を支援していきます。

○算数の授業の様子

算数は、単元や内容によって TT 授業[T 1: 小学校担任、T 2: 中学校数学教諭]や少人数授業[2 クラスに分けて授業を展開]を実施しています。

～TT 授業【小学6年生】



～少人数数学～



※TT 授業：複数の先生が協力して実施する授業子どもたち一人ひとりの学びをより深く、きめ細やかにサポートするために実施。

※少人数授業：クラスの人数を少なくして行う授業。先生が一人ひとりの子どもたちに目を配りやすくなり、それぞれのペースに合わせた、より丁寧な指導が可能になります。



乗り入れ授業とは関係ないのですが、5年生の教室に素敵な動物についての壁新聞が掲示されていました。

○英語の授業の様子

英語は、TT 授業で実施しています。授業展開によって、中学校英語教諭が授業を進めたり、ALT が授業を進めたり、小学校の先生が授業を進めています。



小中合同ごみ拾い

5月28日（水）、小学校は道徳の授業の一環として、中学校の生徒はボランティアとして参加し、小中合同で地域のごみ拾いを行いました。

今回の活動の目的は、私たちが住む利尻富士町を大切に思う心を育むとともに、町のマラソン行事「悠遊観人 G」に向けて、そして訪れる観光客の方々にとって気持ちの良い環境を整えることです。

当日は、小学生と中学生が協力して、中学校から役場付近までの道のりのごみを拾い集めました。小学生は、地域をきれいにすることの大切さを学び、中学生は、ボランティア活動を通して地域に貢献する喜びを感じていました。学年を超えた交流も生まれ、お互いを思いやる温かい光景が見られました。

自分たちの手で街をきれいにすることで、子どもたちは地域への愛着をより一層深め、ふるさと愛に満ち溢れたことと思います。

今後も、このような活動を通して、子どもたちの豊かな心を育んでいきます。



次回の小中一貫教育通信は、運動会特集です。
お楽しみに♪